

# 西根小と月光原小の五年生が稲刈り体験

九月三十日から十月二日まで三日間、東京都目黒区の月光原小学校（島田昇校長）の五年生五十四名が角田市を訪れ、西根小学校（蓬田義廣校長）の五年生と一緒に農業体験交流を行いました。

月光原小学校と西根小学校の交流は昨年の秋から始まり、月光原小学校の児童は、昨年は稲刈りだけの体験でしたが、今年度は、五月に両校一緒に田植えした稲を、秋に刈り取るという



農村体験で広がる目黒区と角田市の小学生の交流

稲刈り体験編

形になりました。十五アールの総合学習田に作付けされたのは「みやこがねもち」です。

初日は、この交流事業の事業主体である西根地区子ども会育成会の方々が先生となり、稲刈りを行いました。ほとんどの子供たちが稲刈り鎌を手にしたのは初めてだったらしく初めは戸惑っていました。すぐにコツをつかんだようで、ずんずん刈り進んでいきました。

二日目は、午前中、西根小学校で飯ごう炊さんを行いました。炭をおこし、飯ごうを火にかけご飯が炊けるのを待つ間に、松ぼっくりなどを使った花炭づくりなども行いました。火の扱いは少し危なっかしかったものの、おいしいご飯が炊けたようでした。また、午後からは佐藤正友さんの山林をお借りして、仙南中央森林組合の職員の方々に先生に、農業体験学習を行いました。大迫力の重機による伐採のデモンストラーションや、のこぎりを使った間伐体験など、山林資源豊かな西根地区ならではの体験学習でした。

また、この日は児童はもちろん引率の先生方も、西根地区の各家庭にホームステイし、田舎の生活を体験しました。

最終日には、あぶくま農学校修了証書授与式が開催され、あぶくま農学校校長先生の佐藤清吉理事長より両校の児童代表に修了証書が手渡されました。

北郷小では緑ヶ丘小五年生と体験学習

十月九日から十二日までの四日間、目黒区緑ヶ丘小学校（稲田正克校長）の五年生六十名が角田市を訪れ、北郷小学校（渡邊美代子校長）の五年生と稲刈り体験学習を行いました。この事業は始まってから六年目となり、両校ともに恒例の事業として定着してきています。

初日は北郷地区の家庭にホームステイするため、ホームステイ先のホストファミリーと対面式を行いました。二日目は終日ホームステイ先で過ごし、夜は農村環境改善センターに宿泊しました。

## 北郷小では緑ヶ丘小五年生と体験学習

稲刈りは三日目に行われ、事業主体であるJ.Aみやぎ仙南角田地区青年部の指導のもと、春に両校で植えた「ひとめぼれ」を刈り取りました。前日雨が降ったので田んぼのコンディションはあまりよくありませんでしたが、子供たちは元気に稲刈りを楽しんでいました。また、昼食には北郷地区のボランティアサークル「たんぼぼ」の方々にトン汁とおにぎりを作っていただきました。



稲刈り終了後に北郷小学校の体育館で、あぶくま農学校修了証書授与式が行われ、あぶくま農学校副校長の遠藤教育長より両校児童代表に修了証書が手渡されました。

最終日も牛の搾乳体験や乾燥調整作業の見学、そしてパーベキューと盛りだくさんの日程でした。